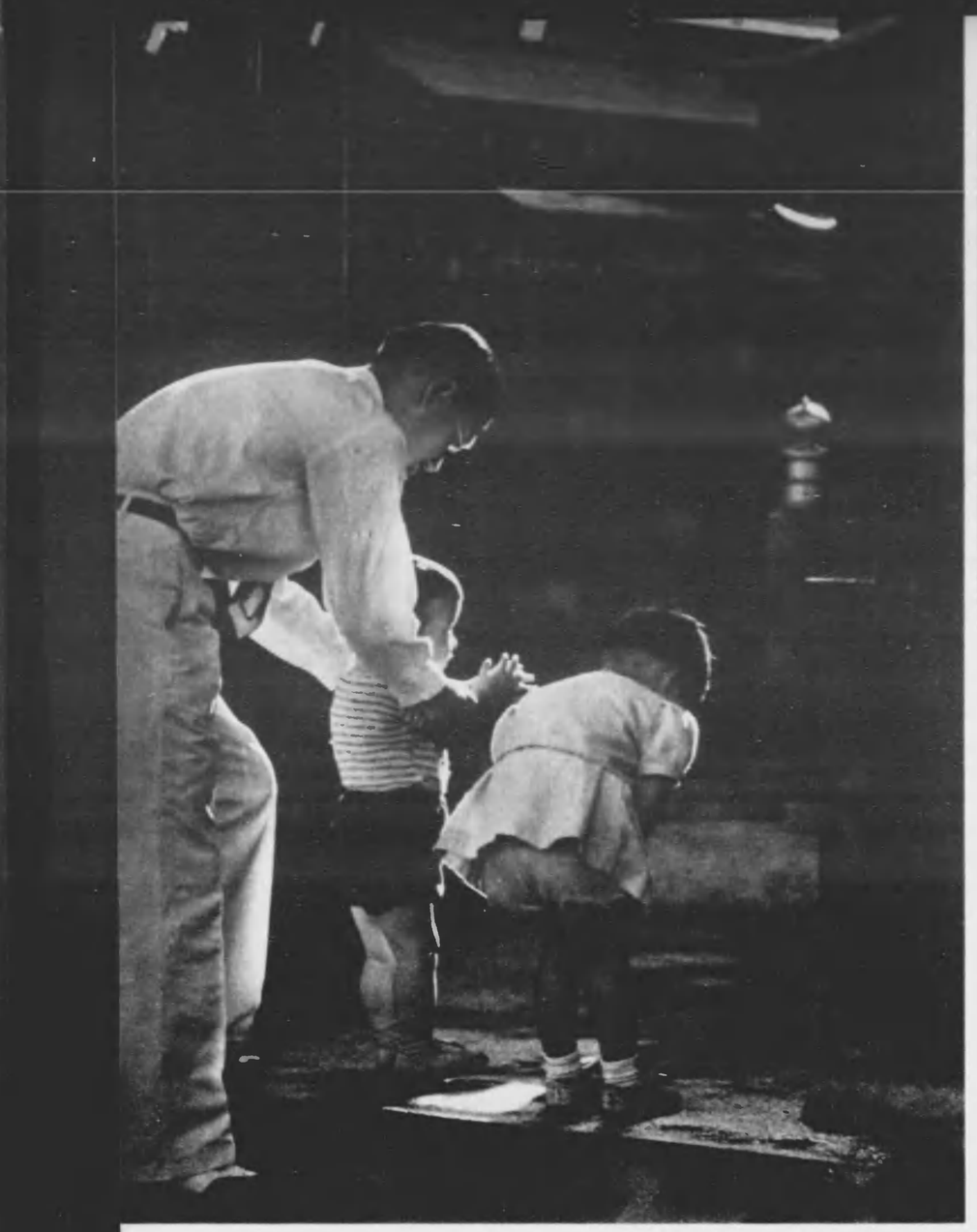
昭和十三年三月十三日　印刷納本　昭和十三年八月九日發行　（週一回八日發行）　第七十七號

內閣情報部編輯
八月九日・第七十七號・十七セン

寫眞週報

上海戰二周年

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records



上海戰三周年

八月十三日は上海戰勃發二周年の日である。

昭和十二年七月七日の蘆溝橋事件以來日本の實力を見くびつた支那側の挑戰的態度は、八月九日、上海郊外の大山大尉事件となつたが、八月十三日、上海支那軍のわが上海特別陸戰隊に對する計畫的不法射擊に、隱忍自重のわが方もつひに堪忍袋の緒を切つて暴支膺懲のため起ち上つたのであつた。

爾來七十有餘日、わが上海特別陸戰隊を中核とする陸海軍增援部隊は寡兵を以つてよく十數倍の敵と奮戰力鬪、幾多の壯烈なる陣中美談を殘しつゝ、十月末遂に上海一帶の頑敵を完全に擊破掃蕩したのであつた。

今やその激戰の跡に上海の復興明朗化は、わが軍民、及び中華民國臨時政府の緊密なる協力の下、着々進捗の實を擧げてゐるが、上海戰以來支那全土に擴大した事變は今なほ終結してはゐない。我々はあの緊迫した當時を想ひ起し、覺悟を新たにして長期戰に向はねばならない。

戰火の跡に新らしく建立された上海神社は、上海特別陸戰隊本部筋向ひの新公園の一角にある。聖戰の犧牲は、こゝに毎朝可憐な掌を合せ、英靈の冥福を祈る小さな在留民の腦裡にも貴く光り輝つてゐるのだ。

撮影 仙波 巖

鍛錬の船旅

瀬戸内海へ
別府
阿蘇
高千穂
霧島
伊豫
讃岐へ

大阪商船

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

上海戰二周年

戰跡に偲ぶ

上海の復興は目覺ましい。が、二年前の市街戰に最も激戰をきはめた閘北一帶の地域には、今なほ、凄まじかつた當時をありくと物語る幾多の戰跡が當の手によつてそのまゝ保存されてゐる。

1 復興すゝむ北停車場附近
2 商務印書館
3 4 閘北ポケット地帶

撮影仙波巖

凄かつたあのころ

上海戦の陸戦隊勇士を囲む座談會

神奈川縣辻堂・海軍演習地にて

二年前、軍艦旗の下に寡勢よく上海を守りぬき、つぎ〳〵と數十倍する頑敵を撃ち退けたわが上海特別陸戦隊。

――當時その司令官として勇名を全世界に馳せた大川内少將は、今、横須賀の海軍砲術學校長として專ら後進の教育養成に當つてゐるが、同校の教官及び學校附の將士の内にも上海戦當時、大川内司令官麾下にあつた勇士が幾多數へられる――日本人のだれもが強い、頼母しい、なつかしい感じをいだく上海陸戦隊の一つの縮圖が、つまり砲術學校の中に見出せるのである。

七月二十九日、これら砲術學校陸戦隊の上海戦勇士は折から僚友とともに神奈川縣辻堂の海軍用地で猛演習中であつたが、この夜、演習を終つてカーキ色背嚢の第三種軍装を脱ぎもあへない勇士をわづらはし、臨時本部にあてられた民家の一室に思ひ出深い『上海戦を語る』の座談會を開いた。

海軍砲術學校教官（元・[illegible]隊長）海軍中佐　安田義達
海軍砲術學校教官（元・[illegible]隊長）海軍大尉　浦部聖
海軍砲術學校附兵曹長（元・海軍竹下部隊小隊長）海軍特務中尉　高木夏作
海軍砲術學校附（元・[illegible]小隊長）海軍兵曹長　濱脇象吉

安田　もう二年前のことになるが、上海陸戦隊が堪忍袋の緒を切つて[illegible]を開始した八月十三日の記念日も間近に迫つて來た。かうして演習地で第三種軍装（陸戦隊員の正装）を着て、陸戦の演習をしてゐると當時のことが思ひ出される。幸ひ[illegible]四名とも上海で戦闘に參加してゐたので今夜は一つお互に當時を思ひ出し話し合ひたいと思ふ。濱脇兵曹長、君は上海で事變勃發前から陸戦隊に勤務してをつたのだから一つ開戦前後の有様を話してくれないか。

濱脇　八、私は昭和十一年[illegible]月から陸戦隊の小隊長として勤務してゐましたが、事變が始まります半年位前から抗日侮日のテロ事件が非常に殖えて來まして、特に十二年五、六月になりますと方々で我が居留民が惨殺されたり迫害を受けたりする事件が頻々と起つて來ました。居留民は隠忍自重してをりますが、段々とこれは何んといつても戦爭になる。どうしても支那を叩かなくては困るといふ話が頻りでありました。當時の陸戦隊は大川内少將閣下を司令官に戴きまして、隊員一同司令官中心に徹頭徹尾いさといふ場合はいつでも起つといふ意氣込みで猛訓練を續け、戦闘即應の用意を整へ誠を持しておたのであります。

八月に入り、上海附近の例の保安隊の動きが活潑になつたといふ情報が兵達の耳にも入り、これはどうしても戦爭が始まらずには濟まない、戦爭はどうしても避けられないといふ氣運になりましたので、當時司令官は一決して輕々しい口をきいたり、輕々しい行動は絶對にしてはいけない、慎重な態度を取つてをれ、いさといふ場合には皆んなが十分働けるやうな場所を選んでやる――といふことを始終訓示してをられました。私共も出來るだけ冷靜を裝ひ待機してゐたのであります。八月九日大山大尉事件が起つたので最早この事件により直ぐに戦爭が始まるのだといふ氣分がしました。當時支那保安隊の中にも正規兵が多數入り込んでゐて、方々で相當挑戰的な態度に出てゐるといふことを聞きました。事件後一日經まして八月十二日、陸戦隊中庭に於て盛大な葬儀が行はれましたが、その時の氣分は何んといひますか、隊員一同沈痛な悲憤慷慨の中に葬儀を終りまして、その日、兵達も上の方から何もいはれないのに自分から進んで戦闘の用意をやり各自身廻りのものを整へ何時でも立てるやうになつてゐました。

安田　さうだつたらうなあ。

濱脇　午後六時頃、○大隊は○○方面に一部配備につき、つゞいて午後八時頃私は中隊長より一小隊を率ゐて直に日本人墓地に進出、八字橋附近を確保せよ――との命令を貰ひました。八字橋に行きましたのが私の記録では十二日の午後八時二十分になつてをります。トラックで現地に行つて見ました所、大體その附近の支那人は皆戦爭があるといふことを知りましてか、何れへか避難してをりました。その晩日本人墓地附近の敵情地形偵察をやりましたが、保安隊が相當數日本人墓地の周圍の家屋に潜入してゐて、何んだかこつちの動きを見てゐるやうな状況でした。

その晩は徹夜して總員で日本人墓地及び八字橋方面に土嚢陣地を作り、戦闘準備をやりました。翌日十三日も續いて陣地の強化とか、命令一下進撃出來るやうに準備をやりました。十三日の晩八字橋の橋の袂つこを見た所、一米間隔に何か置いてあつて、そこから電線が向ふに引張つてある。その状況をよく見ますと、どうもそこに地雷のやうな爆破薬が装置してあると判斷したものですから、その附近にあつた舟を浮べてそれを工作隊に命じて全部取外させて仕舞ひました。

浦部　なるほど。

濱脇　十三日午後四時四十五分、戦闘準備を完成して、部隊を待機の位置に置いて向ふの動靜を觀てをりました。戦闘はまだ開始しません。突如、八字橋の東側に當る空地に一發最初の爆音がしました。砲弾が落下したやうな物凄い勢ひで何か爆發しました。それを見た瞬間にその道路上を通つてゐる電線がぷつつと切斷されて下つて來ました。續いて二發、三發、私のゐる附近から一番近いものは十米位遠くて五、六十米の所で五、六發、一、二秒の差でポン〳〵爆發した。地雷が敷設してあつたのです。それと同時に八字橋の向ふにある西八字橋といふ所から迫撃砲を續けざまに二、三發射込んで來た。砲弾が飛んで來て炸裂したので、直ぐ○隊本部に電話をかけました所が、電話線は地雷爆發で切れてしまつてゐて通じないため、傳令を走らせて直に狀況報告を致しました。無論、○隊本部から○隊本部に、更に陸戦隊本部に報告が行きまして、一直ちに戦闘開始――といふ司令官の命令が下りました。

安田　當時敵の飛行機が非常に跳梁跋扈し、陸戦隊本部が盛に爆撃されたと聞いて心配してゐたが、その時はどんな氣持だつたか。

濱脇　陸戦隊兵舍目がけて敵の飛行機が盛に爆弾を落しますのに、味方の飛行機が一臺も飛んで來ないので、正直なところ恥しい話ですが日本には飛行機がないのかなといふ言葉さへ發したい位の氣持でした。

安田　私は大山大尉とはその年の一月まで陸戦隊に一緒に勤務してゐたので、よく御本人を知つてゐるし、やられた場所も前後通じて五年も上海にをつたので、大體の見當はつく。○○地點に進出待機中に大山事件の勃發をラヂオで聽いて實に切齒扼腕したものだ。その内八字橋附近で火蓋を切つたといふことを知り、君（濱脇兵曹長）があの方面の受持だといふことを知つてゐたので、大いにやつてゐるだらうなと考へて羨ましくも感じてゐた。ところが、全く間もなく「上海に急行せよ」といふ命令が下つた。八月十六日の夜だつた。私共は喜び勇んで上海に駆け着けたのだ。

上海に着いたのが十八日午後一時、直ぐに迎への自動車に乗つて棧橋から陸戦隊本部に馳せ着けた。自分が勤務してゐた頃は實に繁華だつた虹口も全く死の街と化し、犬の仔一匹通らぬといふ荒涼寂寞たる有様で、唯偉大な戦隊員が陣地に着いてゐて、非常に緊張した鋭い眼で敵の方を見張つてゐる。陸戦隊本部に着いて見ると、建物には流石に激戦を物語る砲弾の跡は方々に見受けられるが、爆弾の跡もなく、又廣場に居る僅かばかりの警備隊の人々も大して疲れた顔もしてゐない。司令官に御會ひすると御苦心の程はあり〳〵と御顔にあらはれてゐたが、大變御元氣で、私は非常に心強く感じた。續いて航海中に陸戦隊命令で東部○隊長になれといふ命令を貰つてゐたのだから、直接司令官から「東部の方を確り頼む」といはれて私は勇躍東部戦線に向つた。恰度東部は敵が八字橋や、廣中路の方から陸戦隊を攻めてもどうにもならぬといふので、次で比較的配備の薄弱な東部に攻撃の重點を差し向けたといふ直後であつて、栄北部隊が獨り孤軍奮鬪してゐる時だつた。

私の着く前日、日本總領事は東部居留民に對し虹口に引揚げを命じた。そしてその晩に菊田少佐がとう〳〵壯烈な戦死をされたやうな始末で本當に危機一髪といふ時だつた。

浦部教官は菊田少佐の戦死後、その後に行かれたのだつたな。實は君が消任する前も少佐の死骸をこちらの手に早く收容したいものと隨分努力したのだけれども、なかなか敵が間近に頑張つてゐてその運びに到らなかつた、あれは貴方の手でこつちへ取つてくれたのだつたな、その時の模様なんか話して貰へないか。

浦部　私は菊田少佐戦死の頃は砲術學校に居りました。そしてやはりこの辻堂へ演習に來てゐた時に上海出征の命令受けました。夕刻八時頃命令を受け、その晩の十時五十九分大船發で出發、○○から驅逐艦で非常な高速力で上海に向ひました。上海に着いたのが八月二十三日です。そして直に柴北部隊に赴任し菊田少佐の職務を引き繼いだのです。私の上海に着いた頃は、東部の方も全線に亙つて膠着の形勢が見えてゐた頃です。八月廿七日、竹下部隊の宮野○隊長から連絡がありまして菊田少佐の死骸の横はつてゐる戦場の状況を知らせて呉れましたので、私の前任部隊長でもあり、又日頃から崇敬してゐた菊田少佐の死骸を收容すべきは自分であると、直に部隊員を引連れて戦場に參つたのであります。

參つて見ますと菊田少佐を中心に致しましてその部下九名が枕を並べて討死してゐる状況を眺めまして何とも言へない感じに打たれました。將校と下士官兵の間の情誼が如何に密接であり、而も下は上を庇ひ上の身を護らんとし、上は又率先して難に赴くといふやうな状況があり〳〵と現はれてをりまして、萬感こも〳〵迫りました。

連れていつた中隊員は菊田少佐の舊部下のこととでもあり、『皆抱き付かんばかりに「隊長、隊長」と呼んでなつかしがり、次で一同厳粛な捧銃を捧げました。私はこの立派な中隊長の後を引受けて、その部下たる部隊員を率いて戦ふ光榮に感激した次第であります。

安田　浦部教官が私の本部に挨拶に來られたのは何日だつたかな、誠に思ひ掛けない邂逅だつたが。

浦部　私の上海に着いた日でしたから、――八月二十三日でした。

安田　八月廿三日は陸軍が敵前上陸をした日だ。あの時高木教官は白襷隊としてその敵前上陸を掩護して赫々たる武勲を樹てられたのだが、その時の有様をどうか話してくれ。

高木　私はその時は竹下部隊の小隊長として[illegible]隊長の指揮下に○射砲隊を率ゐて[illegible]恥かしいやう[illegible]

二十二日の夜中に○隊長の使が來まして[illegible]○隊本部に行きました。即ち『明日部下小隊のうち○○砲二門を持つて○○碼頭に集合』――といふだけの命令でありましたが、私としてはどうもこれは[illegible]といふことが感じられました。或は第六感とでもいひますか、それが適中してをります。廿二日○隊命令通り部下小隊のうち半數だけ殘して行くことになり、殘された小隊員が小隊長と離れるのを名殘惜しさうな顔をして見送つてくれた有様が今も目の先にちらつきます。○○碼頭に集結すると白襷隊といふことを聞きましたが、その時は嬉しいやうな悲壯な感激といふかさういつた氣持がしました。

安田　うん。

高木　やがて我々は三隻の汽艇に分乘しまして、呉淞に向ひました。無論内地を出る時に既に決死の覺悟はしてゐましたが、呉淞に敵前上陸といふことが本當に判ると、いよ〳〵あすこで本當に命を捧げるのだといふ悲壯な氣分が身に泌みました。その晩は十六夜の月が皎々と照り輝き、風は殆ど無く、江上には波一つ立ちません。唯、我々の輸送汽艇の機關の響と、汽艇が走るにつれて江上に描かれる金波銀波のみの美しい静かな晩で、決死の門出に實に相應しい情景でした。

浦部　それから。

高木　黄浦江を下つて午前零時半頃、○○棧橋沖附近に着きました。○○戦隊から盛に掩護射撃をしてをります。私共の方からこれを見てゐると、ぴか〳〵と光つたと思ふと、我々が待機してゐる遙かな所へどーんと落ちて、眞紅になつて邊り一面焼け溶けるやうになる。物凄い掩護射撃が續けられるので、これだけ射つたならば恐らく蟻の子一匹をらないだらう――陸は大丈夫だといふ氣分になりました。その中に恰度上陸地點附近の支那人家屋が燃え始めました。一番先頭が○隊本部、その次ぎが大橋大尉の第一○隊、そして私の小隊、續いて宮野大尉の第二○隊、その[illegible]を起してゐる民家近くの岸壁に横着けしようとすると、果然江岸鐵道の所に陣地を構へてゐた敵からは一段と猛烈に機銃、小銃等で上から叩き付けて來る。それが我々の乘つてゐる汽艇の舷側にあたつては撥ね返へる。その音のすさまじさといつたら本當に雨霰と降り注ぐと云ふあの形容詞を用ひても少しも誇大でないと思ひます。

安田　凄かつたらうなあ。

高木　我々の汽艇が江岸に近づくに從つて敵の射撃は益々猛烈を極め、兵達の中には既に負傷者もある。この時、素早く相澤兵曹長が指揮してもやひを取りました。これは實に神業といへませう。雨霰と蔽に降り注ぐ弾丸の中でもやひを取る動作はそれこそ神業でなければ出來ません。我々は唯銃劍を握り締め、夢中になつて江岸に上陸したのです。上陸して黄浦江岸の岸壁に張り付きますと死角になりますので、若干敵弾を避けることが出來ました。かうして豫定通りに巧く敵前上陸をしました。

私は上陸するや直ぐ砲の陣地を決め、砲を据えて敵の機銃陣地を見付けてはそれを目がけて砲弾を浴せました。そのうち味方の第一線が段々出て行きますから○隊本部に第一線はどこまで進んでゐるか連絡を取らうとしました所が、出す傳令も、出す傳令も、皆次々に戦死して仕舞つてどうしても連絡が取れないといふ状況でありました。その次ぎの命令は第一○隊の指揮下に付けといふ命令でありましたから敵弾雨下の中を進んで第一○隊に着きました。それからは第一○隊と協力して敵の據點を叩き、機銃陣地を叩き、敵の增援隊を叩いた譯です。そのうちに夜が明けて來ますと、各隊の位置がよく分つて來ました。各隊の位置が分つて來て見るとよく連絡が取れるやうに出來上つてをりました。夜間あれ程傳令を出しても連絡が取れなかつたのが知らず知らずの内によく出來てゐるのに驚きました。戦闘は十時半まで續けられましたがそのうち陸軍部隊が續々上陸して來ましたので、占據地區を陸軍に引渡して我々は上海に歸りました。

安田　十八日上海に上陸してから廿三日陸軍部隊の上陸するまで約一週間の間はどうもさうたつたと思ふか、私共も全く不眠不休、大敵を前に控へて長い租界線を確保して來た譯だ。みんな涙ぐましい迄に働いてくれた。

陸軍が上陸してからは流石に我分樂になつた。私の○隊も逐次進撃を開始し九月十三日には市政府を本城とする前面に敵が總退却し、之を追撃してその日の午前八時に遠東競馬場を占領してそこに軍艦旗を翻へした。私としてはそれはほんとに嬉しかつた。無論この敵の退却は我々の攻撃のみによつたものではない。即ち支軍の飛行機が盛に爆撃してくれたこと、江上の軍艦から大砲を以て敵陣地を砲撃してくれたこと、それから陸軍の部隊が軍工路方面から非常な損害をも顧みず攻撃してくれたこと、このやうな色々なことが一緒になつて前面の敵は遂に居堪らなくなつて總退却したのだ。もつとも私共が占領した地域は支那四百餘州から見れば僅かに芥子粒にも足らぬ狹い地域である。然し、之は中支那に於ける敵の最初の退却なんだ。あれ程頑强に抵抗した敵の退却を見て何んだか敵の内兜を見透すことが出來たといふ氣持がして嬉しくてならなかつた。

一同　本當ですね。

安田　その後私は租界警備隊指揮官を仰せ付けられ、日本人倶樂部に本部を移して、占領地域の租界全般の警備に任じ、兼ねてその復興關係にも携つた。居留民は前の事件の經驗もあつて實によく結束して、銃後の務めに間然する所がなくよくやつてくれた。かうして居留民は軍隊に感謝し、軍隊は又居留民に感謝し、お互に水も漏さぬやうな仲で上海の復興明朗化に努めて來たと私は信じてゐる。十月廿七日には閘北の總攻擊があつた。これには私は參加し得なかつたけれども、君達は皆參加せられたのだな。私はその日、日本人倶樂部の屋上にあつて、次ぎ次ぎと閘北の著名な建物に軍艦旗が翻へるのを眺めつゝ諸君が勇戦奮鬪してゐる有様を思つて何ともいへない嬉しい感激に浸つた。十一月十一日には對岸の浦東も掃蕩されて、上海附近全般から敵が退却して仕舞つた。今上海が復興の一途を辿つてゐるといふことを新聞やあちらから歸つて來る人の噂に聞くけれども、どんなに復興してゐるだらうか、戦爭當時彈丸の飛んで來る中をも厭はず我々のために盡してくれた居留民の人々は今どんなにしてゐるだらう。もう一度早く上海へ行つて見たいものだ。

（速記）

外貨獲得の戰士

北海道産バター

北海道のバターは全國のバター總生産高の九割を占め、事變前からも輸出國、支那その他に輸出されてゐたが、輸出振興の時に當面されるとその販路を歐洲方面に伸して外貨獲得に目覺ましい役割を果してゐる。

北海道のやうな寒地では有畜農業が最も適してゐるので乳牛を飼養してゐる農家は非常に多い。これら酪農の有畜農家で組織し、製酪及びその販賣等の事業を營つてゐる北海道製酪販賣組合聯合會は昨年度の實績に當たり、チーズ、練乳等各種乳製品の國內消費量を調査のうえまづバターに關し、消費高を調査の上、昨年イギリス向輸出高の外、ドイツに十萬ポンド（金額約百萬圓）の輸出を行つたが、品質が優良にして價格が良く、今年度はその約二倍を輸出することになつてゐる。

統計によると、九三五年度のイギリスのバター輸入量は約十億ポンド、世界一のバター輸入國であり、ドイツは約一億五千萬ポンドでこれに次いでゐる。この莫大な輸入量に比べるとわが國からの輸出量はまたまた微々たるもので、北海道の約半分位の面積しかないデンマークが年々三億ポンド以上のバターを輸出してゐるのを考へると、まだ〳〵その生産擴充に餘地があると思はれる。

北海道酪農販賣組合聯合會はこの見地から今後人口製酪事業の擴大を圖り、バターだけでなく、チーズ練乳等乳製品の大々的海外進出を計畫してゐるが、これにはまづその原料を供給すべき乳牛數を增加することが必要であり、今道の農家が酪農業の特質に目覺めて有利な乳牛飼養を行ふやう望んでゐる。

1 北海道北見海岸の乳牛放牧

2 柵越、朝露に濡えわ野花を踏んで搾乳舍へはじまる。共同出荷の馬車が酪村まで來てゐる。遲れないように

3 二頭、三頭と飼つてゐる農村の乳牛から採集められた牛乳は酪聯本部に運び込まれ、品質檢査の上、分離機にかけられて生クリームと脫脂乳に分離され、殺菌され、種を加へられて混合機に自動的に送り込まれる。

4 一度に二千ポンド（約二千圓）のバターを作るコンバインド・チャンバー（混合機）からバターの山が運び出された。この淡黃色の山が外國の金貨に變へられ黃金色に輝くわけだ。

5 混合機からとり出されたバターの山は手早く輸出用の木箱に納められてゆく、外貨獲得の選手として。

6 札幌市苗穗町にある酪農販賣利用組合聯合會本部の冷藏倉庫內には、ロンドン市場向けに送られるバターの箱が天井までも積み上げられ、外貨獲得にうなつてゐる。

撮影　內閣情報部

挺隊部指金 丸太棒

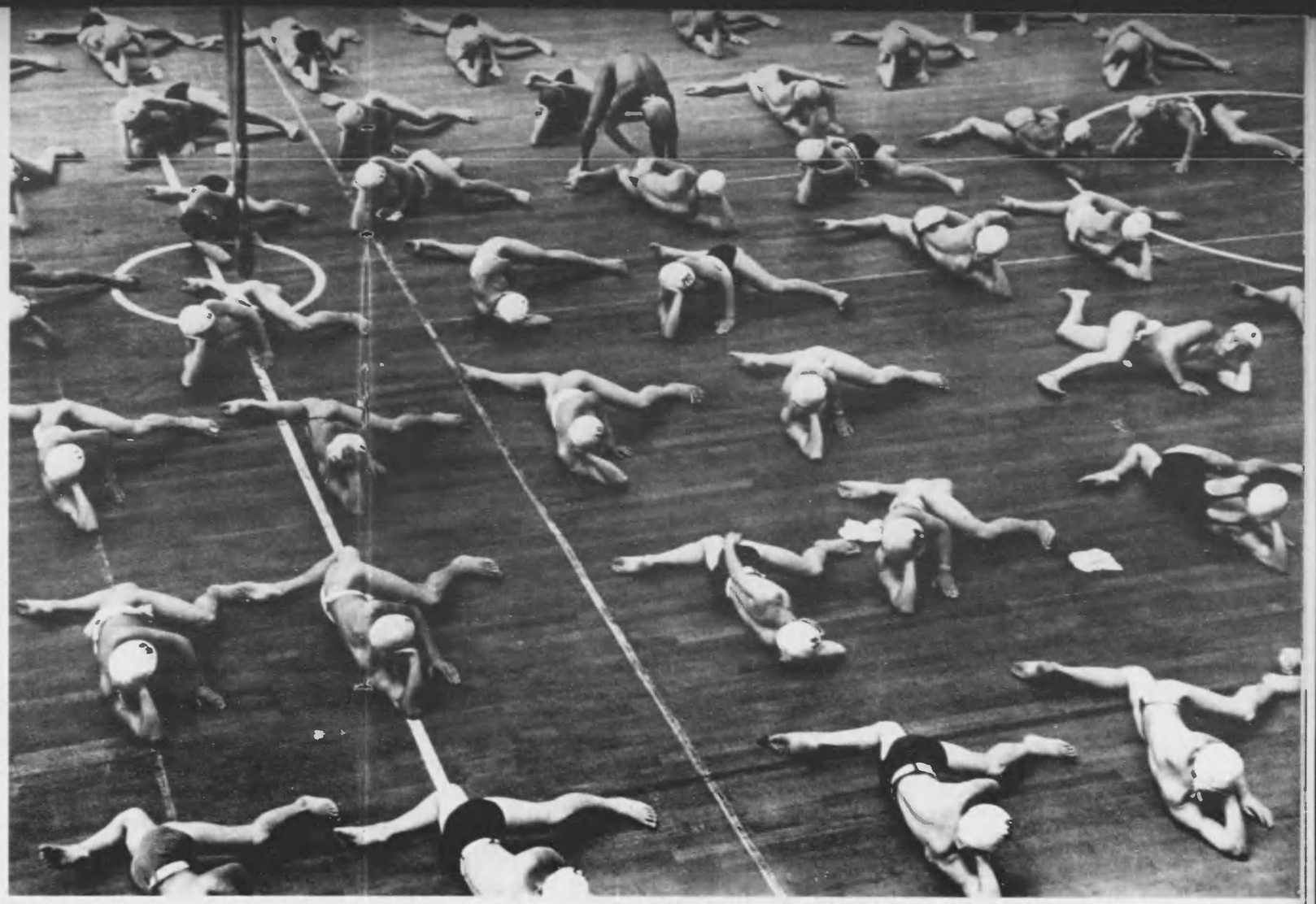
⇩ また金槌の城を脱するか脱しないかの瀬戸際に増と増の間に浮かした丸太棒の一つを取り去ろうとしてゐる。このとき命令一下、丸太棒をはなせ！

東京市神田の國民體育館プールで七月二十四日から厚生省主催の入営兵水泳訓練講習會が始まつた。

徴兵檢査に合格して嬉しい入営の日を待つ青年が泳ぎを知らないそうでは入営後の行動にも差支へるから、一度との夏を機會に心身鍛錬を兼ねてわづか一週間で泳げる様傳を授けようといふ厚生省の心盡りである。まづ手始めに神田區内の入営兵中全然泳ぎの出來ないもの百二十名が選ばれた。午前八時から十時まで、まづバタ足から犬搔き、四日目には早くも約半數が二十五メートルのプールをノシて泳げるようになり、最終日三十日には全員喰込、潜り、平泳等一通りの泳ぎが出來中には百五十メートル位を樂に泳ぎ切るものもあつた。

厚生省はこの好成績に力を得て今後市内各區入営兵の全種組に同様短期水泳訓練を行ふはづである。

撮影 同盟通信社



⇧ 屋内競技場でまづノシ泳ぎの足のあばり方を教はる。一人一人教官の強合に從つて裸の脚がたくましい孤を描く。

⇩ こんどは實際プールに浸つてあばつてみる。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

火星の謎

火星の軌道の離心率は可成り大きいから、同じ大星の近日點附近で衝となつたから最も接近し對に遠日點附近で衝となつた時とでは三倍餘の距離になるのであまり喜しくないこの接近の人氣も今回の接近は月二十二日の接近が最も條件がよいので今回の接近はこれに次ぐものである。

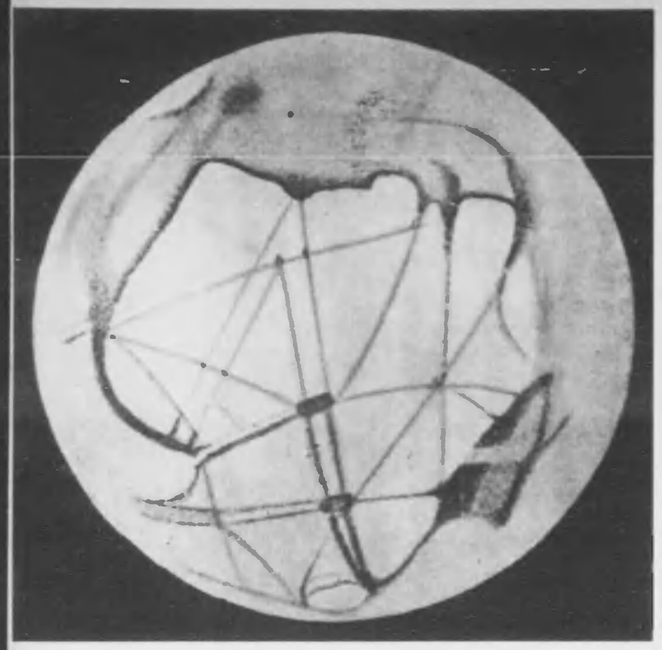
火星の直徑は地球の約半分で、體積は地球の分の一である。又、火星の自轉週期は二十四時間十七分二十二秒であるから、火星の一日は地球の一日より少し長い。火星の赤道面は軌道面に對して約二十四度傾斜しておる爲め、我が地球上と同じく火星の春夏秋冬の四季が繰返されておる。但し火星の一年は地球の一年よりも遙かに長く六百八十七日であつて、もし火星の一日を單位として測れば六百六十九火星日に相當する。

火星の光は赤味を帶びてゐることが特徴であつて、表面の地肌は赤色帶であるが、赤道地帶から南半球にかけて暗綠色にて着はれてゐる部分があり、南極、北極は白色を帶びた極冠で占められてゐるが目立つてゐる。北の兩極冠は大々冬ごとに大きくなつて、緯度四、五十度の所まで擴るが春になると融けかけて晩夏の頃の兩極冠は全然消滅することもあるが、北の極冠は決してなくなる様なことはない。これは火星の南半球側が北半球側より寒さが激しいことを物語るものである。兩極冠は地球の極地に見られるやうな氷雪地帶であつて、極冠の水蒸氣の存在したものと考へられてゐる。赤道地帶から南に擴つてゐる暗綠色帶は季節と共に大きさや形が變化し、春から初夏にかけて綠が濃くなり、晩夏から秋にかけては黄褐色に變る爲から、植物の繁茂地帶ではないかとも考へられてゐる。

火星の表面狀態で最も興味をそそられるものは運河である。これは一八七七年に、伊太利のスキアパレリが發見したもので、彼によると火星の赤道地帶で緯氏十度、極地で氷點下七十度位であるから、地球に比べて氣候は非常に不順である。大氣も非常に稀薄であるが、地球の大氣に似てゐる點からみて、火星に生物が棲んで棲めないことともない。もしゐるとすればよほど不順な氣候に堪え得るものでなければならないが、棲んでゐるはつきりした證據はない。これが、火星が謎の天體と考へられるわけである。

東京帝國大學助教授
理學博士　鏡木政彦

七月二十八日夜、火星の謎を探らうと東京でも素人天文學者は續々と上野科學博物館につめかけ、望遠鏡に好奇の眼を輝かせた。



望遠鏡寫眞鏡によつて撮影された火星の表面の姿

女學校の望遠鏡もこの好機を逃さじと星くづきらめく南の空に向けられた。科學的な探求心と詩的な想像力を胸一杯に織り交せながら少女はちつと神祕の星をみつめる。

一八八八年、イタリー、ミラノ天文臺長で火星に運河のあることを始めて說へたスキアパレリが描いた火星のスケッチ。彼によると上と下にある丸い部分は地球の極地に似た極冠、表面の白い部分は沙漠で、黒味を帶びた所は綠地帶である。表面を縱橫に走る線が運河で、極地から發して綠地帶に通じてゐる。その最も長いものは三千マイルに及んでゐる。四季の變化によつて一方の極冠附近の氷が融けると、その水はこの運河を通つて水分の少い綠地帶に灌漑し、植物を栽培し、人類が生存してゐるといふのである。

若しそれが事實だとすると、火星に住む人類は大した知能の持主だということになる。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

東亞に新秩序を建設する日本の文化的使命はこゝにも見ごと果されてゐる

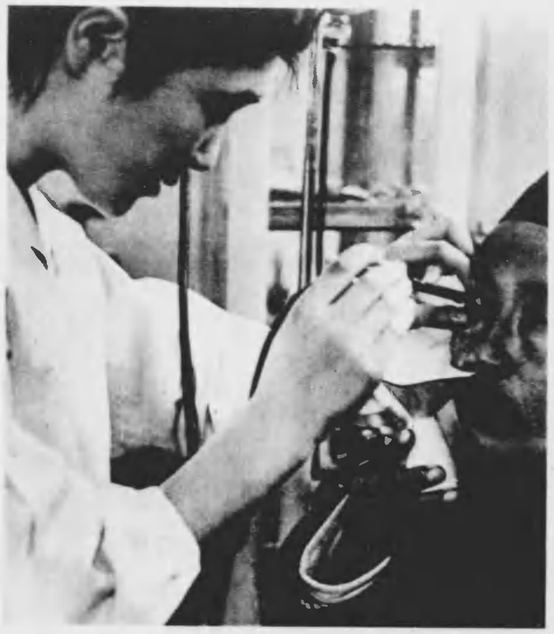
潯陽て強生知識に乏しい支那民衆に日本の誇る醫療文明の恩惠を浴させようと、わが軍の特務機關は無料の巡回診療班を組織した　日本の優秀な醫師と看護婦とからなる診療班員は續々支那民衆の巷に入り込み、日か經つにつれて人々の信賴と尊敬をあつめてゐる

今この醫療挺身隊は水と詩の都、蘇州に現はれた　重傷と輕傷とを問はず患者はすべて一視同仁、卓拔の技術と博愛の精神で熱誠する

下層階級に最も多い有毒性潰瘍の子供たちや出費かさみ從來の醫師に看てもらふことなど思ひもよらなかつた疾病の婦女子たちは、はじめこそ半信半疑であつたが、今では無料診療のほかに藥から重湯までくれる巡回診療班の人々に心からの感謝を捧げてゐる

ぞたきがんさやしいおのんほに

日本的大夫來到了！



中支軍報道部提供

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

野外に鍛へるドイツの夏

海外通信

⇧ヒトラーユーゲントのキャンプ入

山を越えて目標地設走⇩

サンドスキーを教はる娘のユーゲント⇩

ヒトラー總統の下に大ドイツ帝國建設を目さして進むドイツ國民はまつ國防上の點から強い身體と強い精神の所有者であることが要求される。從つて全國民は年齢を問はず、階級を問はず、野外運動に、軍事的競技に心身の鍛錬は世界史上にも稀な厳格さで全ドイツにひろくつゝけられてゐるナチス獨特の歡喜力行の魂もすべて、こゝから生れるのだ。この二頁は炎熱を克服し、汗の裡に崇高なものを見出す盤邦ドイツ小國民たちの夏の姿である。

⇧小國民も陸に海へ水に親しむ

⇨ベルリン——グリュナウ間のモーターボート競技

高貴協會

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

新發賣　泡立ちよくてもちのよい

活性化粧酵素入
專賣特許

日本油脂株式會社
東京・芝・日産館

營業所
東京 日産自動車販賣株式會社
内ノ丸
（ほか販賣店あり）
（全國各地に販賣店）

⇧ 最近の海南線

南京特電

中支鐵道司令部管下にある海南線一、二海行列車は六時間で走つてゐたが、従来一日一回であつた七月十八日から一日二回となつた。その一食堂車も連結さる内地の列車運行と略々変らなくなつた。——日本語のうまくなつた駅員さん。

⇧ 故飯塚部隊長の遺徳

東京市 鈴田繁三郎

敵塹部隊によつて占據された海南島通信には當時飯塚部隊長はじめ部隊勇士の溫かい宣撫工作に日本の實態を理解し以來東亞新秩序建設に積極協力してゐた、部隊長しかもその際に於いて南通信長候補者十氏の中女さんまで南通信小學校の教員を志願、親日の教鞭をとつてゐたが

⇦ 戰地の廢品回收

北支戰線にて
陸兵中尉 富田時男

長期戰の第一線に立つわれ〳〵軍人は内地銃後國民と等しく軍需資源の愛護、物資の節約につとめてゐる問題で送つたトロップの鑵も驛頭で集めた空鑵も捨てず背嚢に詰め込んで、地點に集結して、回收に便利なやうにしておきます。

⇧ 兵隊さんの慰問袋

東京市 小林ふみ

戰地の兵隊さんに慰問袋を送りたいと思ひ、學校の先生に相談しましたら、學校の方で送つて下さるとのことでしたので、私の家の近くの方々にお願ひして、お菓子、お煙草、お手紙、慰問袋を作つて送りました。

讀者のカメラ

應募規定

一、題材　國民精神總動員に關するもの

二、印畫の大きさ　なるべく

三、締切　毎週火曜日

四、賞品　内閣情報部賞狀及び賞金

五、應募作品は一切返却せず、また他の新聞雜誌等に發表されたものは不可。

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？さあ、復習をやりませう

1 今事變で上海に戰端が開かれたのはいつですか？……（4頁）

2 中支における最初の我軍の敵前上陸地はどこですか？……（5頁）

3 七月二十八日火星は地球にどの位の距離にまで近づきましたか？……（10頁）

4 白襷隊とは何ですか？……（15頁）

5 ドイツの心身鍛錬の主要目的は？……（15頁）

6 今事變最初の支那軍の空襲はいつでしたか？……（4頁）

7 北海道産バターの昨年度歐洲向け輸出額はどれ位でしたか？……（14頁）

8 上海の商務印書館の建物はいまどうなつてゐますか？……（2頁）

9 北海道産バターは現在歐洲のどこへ輸出されてゐますか？……（14頁）

10 火星には月がいくつありますか？……（10頁）

右の問題、一問十點として あなたは何點でせう、

寫眞週報（第二百四十二號）

★表紙
石造りの廢墟むなしく、夏雲の下、荷物一人殘らず埃と瓦礫をさこに、こゝは上海、蘆北
かつて幾多革命の尊い血を吸つた激戰の地、すさまじい近代市街戰の跡形もなくなつたあるいた
撮影 伊達 巖

昭和十四年八月九日印刷發行

編輯兼發行者　内閣情報部
東京市麴町區永田町
内閣印刷局内

印刷者　内閣印刷局
東京市麴町區大手町

定價
一部 十錢
一ケ年（前金）二圓四十錢
一ケ年（後金）四圓八十錢
（送料不要）
外國郵便に係る增額は一ケ年九圓十二錢

牛ケ年分未滿配達御希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込みください

申込所
内閣印刷局發行課
電話丸ノ内（23）三五一九
振替東京一九〇〇〇

全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
各書店・鐵道販賣店
各新聞販賣店
寫眞材料店

米食國民

この榮養素はわれ〳〵が主食する米や麥に天然には含まれて居ります
が精白したり漬いだりする際その大半（七五―九〇%）は失はれるのです
そのため胃腸の機能を弱め健康を害ふことになるのです。或は脚氣を
起して活動力を阻まれるのです。

國民の體力こそ最後の鍵です。然も健康向上に最も必要なB複合體はエビオス錠により容易に補償し得るのです。

に不足し、然もぜひ必要な榮養素はビタミンB複合體です。

酵母劑エビオス錠

内閣印刷局印刷發行

（内閣「報週」・A4格版定價六十五錢）